

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス BOW開明Ⅱ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供達の個性を活かした、自由度の高い支援を心掛けています。	スケジュール作成を考える時に、子供達の笑顔を第一に考案しています。 他施設との集団の遊びを通して、負けるのが苦手な利用者さんに色んな体験してもらっている。	安全に外遊び等が出来る様に、計画の作成に努めています。 話し合いの振り返り、役割付与を取り入れ、自己決定の経験を積み重ねるように努めています。 また、心理的な安心感や感覚面の配慮を行い、主体的な行動が日常生活へと広がる支援の充実を図っています。
2	年齢や障害特性などの幅が広く、お友達との関わりが限定的になりにくい所。	個性に合わせた支援が出来る様に、スケジュールを細分化して提供しています。 他施設との関わりをもっている。	室内の物の配置等を考え、身体を動かしやすいような環境を整える様にしています。 異年齢交流の機械を意図的に作り、役割の付与や振り返りを行うことで、将来像をより具体的に描ける支援に発展させていきます。 また主体的な行動につながるよう支援をしていきます。
3	保護者の方との会話を大切にしております。	モニタリングやアセスメントにおいて、保護者の方の困ったことなどを言いやすい環境づくりに努めています。子供達の楽しい気持ちを引き出しつつ、発展段階に合わせて療育が出来る様にMTGで共有し、共通認識をもち支援をしていきます。職員が子供達と一緒に体を動かすことで、体の使い方や加減、感覚の調整を楽しみながら身に着けられるようにしていきます。	保護者会などの開催を検討中です。 より専門的な視点で療育が出来るよう、外部の研修などにも参加を常に学んでいく姿勢を併、常に新しい知識を習得していけるように努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない。 年齢の幅があるため、思い切った動きをすることが難しいことがある。	外に向かった発言力が弱いところ です。	地域の方達と交流が持てるような企画を検討中です。
2	子供達皆で協力をして、何かをするイベントなどが少ない	企画力が弱いので、情報収集をして提案することを実践していきたいと考えています。	地域資源を使った企画を検討していきたいです。子供一人ひとりの発達段階や課題に合わせて、イベントの企画から準備、実行までを一緒にを行い、主体的に活動へ参加できる機会を設定していきます。その過程においては、役割分担や意思決定の場面を大切にし、自立に向けた適切な声掛けや関わりを行い、自己決定力や社会性の向上につなげていきます。
3			